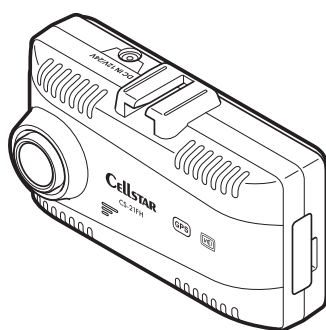


DRIVE RECORDER CS-21FH®

取扱説明書 本体編

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。



microSD カードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、オプションの microSD カードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード (GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1) をおすすめします。

画像モードを変更すると microSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。(参照⇒ ⑩ ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて)

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は付属のmicroSDカードに格納しています。ファイルを削除した場合、下記URLよりダウンロードしてください。

<https://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。
microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。
microSD Logoは登録商標です。
STARVISはソニー株式会社の登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Copyright © 2019-2022 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

保証書

**保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ
お受け取りになり、保証内容を良くお読みのと、大切に保管してください。**

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票も併せてご記入ください。

製品名：CS-21FH	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効 印
ご住所：	
お電話：	

以下の場合には保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外観上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリーディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項(お買い上げ日、販売店名など)に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保管ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
(受付時間) 9:00～18:00 (土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

0570-006867 (ナビダイヤル)

0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)
(受付時間) 9:00～18:00 (土・日・祝日および、弊社休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ)より質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

- 北海道地区 札幌出張所
〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251
- 東北地区 仙台営業所
〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110
- 北関東・新潟地区 水戸営業所
〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420
- 関東地区 本社
〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

- 東海・北陸地区 名古屋営業所
〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737
- 関西・中国・四国地区 大阪営業所
〒562-0004 大阪府真面目市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575
- 九州・沖縄地区 福岡営業所
〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

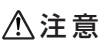
<https://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社

1 安全に正しくご使用いただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
-  この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。

危険

-  本機は必ず定められた電圧(DC12V/24V)でご使用ください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  運転中に本機を操作しないでください。
* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。
-  本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。
* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

警告

-  本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。
-  本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。
-  本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。
* 火災などの原因となります。
-  本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。
-  コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。
* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。
-  本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。
* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。
-  本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。
-  本機は、ガラス面に正しく取り付けてください。
* ガラス面をきれいに拭いたあと、本機を正しく確実に取り付けてください。正しく取り付いていない場合、本機がガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。
-  電源コードまたはソケット部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
* 接続不良による感電および火災の原因となります。

注意

-  本機に強い衝撃を与えないでください。
* 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
-  本機の近くに磁性性がある物を置かないでください。
* 製品の誤作動および故障の原因となります。
-  本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
* 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
-  本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
* 故障の原因となり保証を受けることができません。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
* 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。
-  GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
* 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分がかかる場合があります。
-  フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS受信障害が発生することがあります。
-  トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
-  暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
-  フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
* ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
-  本機は、推奨取付位置に設置してください。
* 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
* 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
-  LED方式の信号機では画面がちらつく(フリッカー)ことがあります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-B

2 免責について

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。(12V設定推奨)
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- LED方式の信号機では記録映像がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
- microSDカードの取り扱いには十分注意して、注意事項をよくお読みになり使用してください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して当社は一切の責任を負いません。
- 市販のmicroSDカードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、当社は一切の責任を負いません。

3 microSDカードの取り扱い注意事項

- microSDカードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。
- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。指定以外のmicroSDカードを使用すると、データの損失や記録できない可能性があります。
 - 市販のmicroSDカードによっては認識しにくいものや、挿入、取り出しにくいものがあります。
 - 市販のmicroSDカードを挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。強制フォーマットをおこなってください。
 - microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
 - microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
 - 一般的にmicroSDカードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - microSDカードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定のmicroSDカードと交換してください。
 - microSDカードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
 - microSDカードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - 正しく動作しない場合があります。
 - microSDカードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - microSDカードが破損するおそれがあります。
 - microSDカードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - microSDカードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
 - microSDカードを別に購入する場合は、必ず使用可能か確認したうえでご購入ください。
 - 8GB～32GB（クラス10/SDHC 規格準拠、NANDタイプは「MLC」を推奨）
 - 64GB（クラス10/SDXC 規格準拠、UHSスピードクラス：UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨）
 - 必ず本体にてフォーマットをおこなってください。
 - microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
 - microSDカードを取り出すときは、車のエンジンを止めて、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
 - microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
 - microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
 - microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。
 - microSDカードスロットに異物を入れないでください。
 - カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
 - 油がついた手や濡れた手でmicroSDカードスロットを触らないでください。
 - microSDカードの損傷、または故障などの原因となります。
 - microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
 - 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルや専用ビューアソフトは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
 - パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
 - データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対にmicroSDカードを取り出さないでください。
 - microSDカードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
 - microSDカードに本機の設定情報を保存しているため、別のmicroSDカードと入れ替えると、本機の設定は初期値に戻ります。

3-1 microSDメンテナンスフリー機能について

フォーマットをおこなうと、設定した録画画質にあわせたセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができます。これにより定期的なフォーマットが不要となります。

- 「画像モード設定」を変更したり、microSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカードは工場出荷時にこのファイルシステムが適応されています。
- 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要です。（参照⇒ ⓘ フォーマットする）
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

4 使用上の注意

4-1 録画について

- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画や静止画撮影をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源を入れたあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

4-2 ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や滅点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

4-3 アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

4-4 カメラレンズの注意事項

- 本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなつてますので直接手で触れないようご注意ください。

4-5 ご使用中に事故が発生した場合

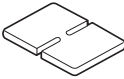
- お車のエンジンをオフにし、本機からDCプラグを外して確実に電源がオフになっていることを確認してからmicroSDカードを取り出してください。microSDカードは付属のSDカードケースに保管してください。（参照⇒ 7-5 microSDカードの挿入および取り出し）
- microSDカードはWindows/パソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまう恐れがあります。

5 付属品とオプション品

5-1 付属品

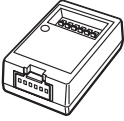
本機を使用する前に、必ず付属品（同梱物）を確認してください。

- 付属品には注意書きが同梱している場合があります。あわせて確認してください。

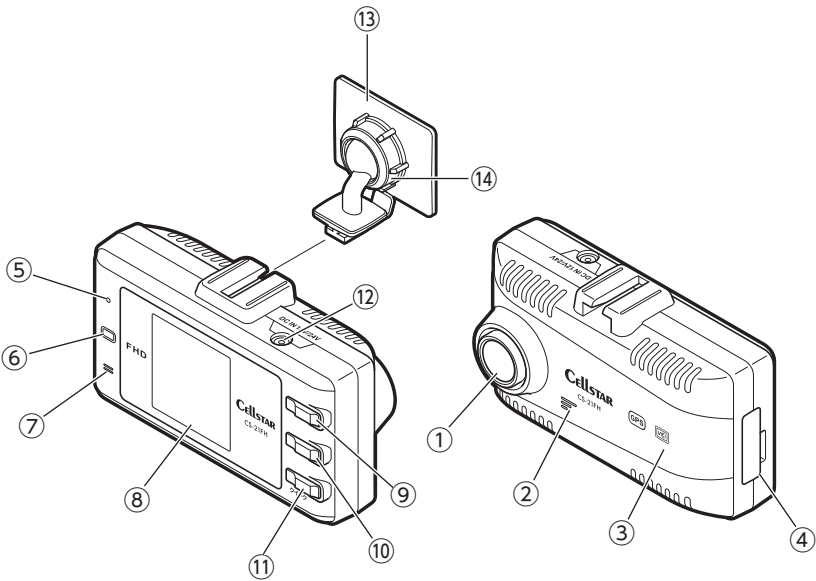
 □両面テープ（黒） （フロントガラス用）	 □マウントベース	 □ボールジョイント
 □DCコード （3極DCプラグ）	 □microSDカード （専用ビューアソフト入り） * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダ本体に挿入されています。	 □取扱説明書（本書）

5-2 オプション品

別途お買い求めください。

常時電源コード（3極DCプラグ）  パーキングモード機能を利用する場合に使用します。 最大12時間まで電源を供給します。	直結配線DCコード（3極DCプラグ） 
ドライブレコーダー専用microSDカード  8GB: GDO-SD8G1 16GB: GDO-SD16G1 32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1	本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。 https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf 

6 各部の名前とはたらき



- ① 撮影用カメラレンズ
出荷時に保護フィルムが貼られています。剥がして使用してください。
- ② スピーカー
各種警告を音声出力します。（モノラル）
- ③ GPS
GPS、グローバル衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき、SBAS（ひまわり、GAGAN）6種類83基の衛星を受信します。
- ④ microSDカードスロット
付属またはオプションのmicroSDカードを挿入します。
* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- ⑤ リセットボタン
本機を再起動します。（参照⇒ 16-1 システムリセット）
- ⑥ 動作LED
本機の動作状態を表示します。
- ⑦ マイク
録画中の音声を録音します。
- ⑧ ディスプレイ
カメラの録画映像、再生、設定メニューの画面などを表示します。
* 本機を反転し、電源を入ると、ディスプレイも反転します。
- ⑨ [▲] ボタン
録画状態で、短押し（約1秒）すると再生モードになり（参照⇒ ⑩ 再生する（再生モード））、長押しで音量がアップします。
また、メニュー操作時、短押し（約1秒）するとカーソルが上に移動、長押しすると一つ上のメニューに戻ります。
- ⑩ [ENT] ボタン
録画状態で、短押し（約1秒）するとメインメニューを表示します。また、メニュー操作時、短押し（約1秒）すると設定内容の決定、長押しで録画状態に戻ります。
- ⑪ [▼] ボタン
録画状態で、短押し（約1秒）するとクイック録画モードになり（参照⇒ 9-3 クイック録画モード）、長押しで音量がダウンします。
また、メニュー操作時、短押し（約1秒）するとカーソルが下に移動、長押しすると一つ上のメニューに戻ります。
- ⑫ DC12V/24Vソケット
専用のDCコード（3極DCプラグ）を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。
- ⑬ マウントベース
付属の両面テープでフロントガラスに取り付けます。
- ⑭ 角度調整ノブ
本機の取り付け角度を調整します。

7 取り付けと準備

⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機が外れる場合がございます。ガラス面とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを脱脂クリーナーなどでしっかり拭き取り、本機を確実に取り付けてください。

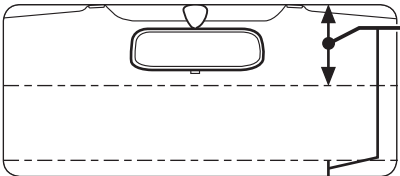
⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本機を設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。

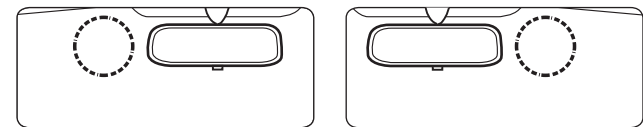
7-1 取り付け位置（正面）

フロントガラス



フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内、またはフロントガラス下部から150mm以内に取り付けてください

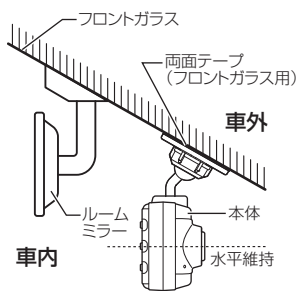
ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適の録画映像を得ることができます。



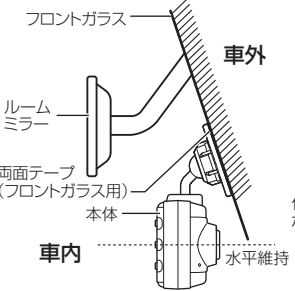
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

7-2 取り付け位置（側面）

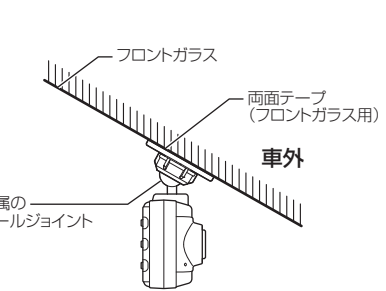
■一般的な乗用車



■ワンボックスやトラックなど



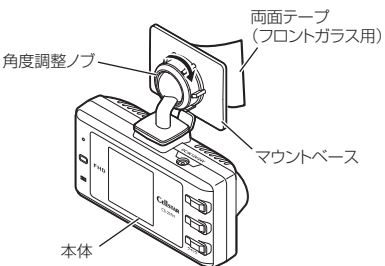
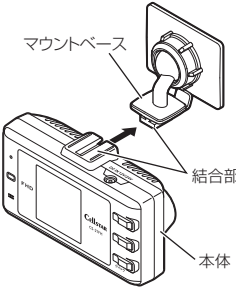
* フロントガラスの角度によっては、マウントベースのボールジョイントを交換して設置できます。



- ・前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・本体が水平を維持するように取り付けてください。水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- ・本機はDCコードが接続され、電源が入った時点で画面の向きを決定します。DCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

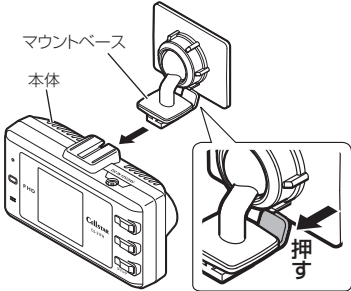
7-3 取り付ける

- 1 本体にマウントベースを取り付け、両面テープを使ってフロントガラスに取り付けます。
- 2 角度調整ノブを右に回して本体を固定します。

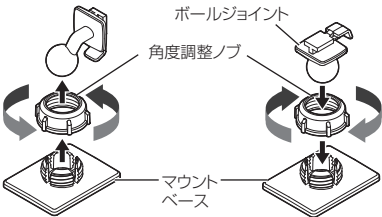


* 角度調整ノブを緩めると取付角度を調整できます。

■ マウントベースから本体を取り外すときは
マウントベースのツメ部を押し、本体を引き外します。



■ ボールジョイントを交換する
マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイントを付け替えます。



7-4 配線

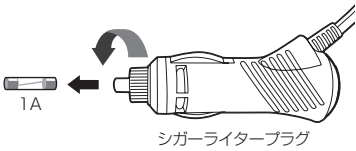
⚠ 注意

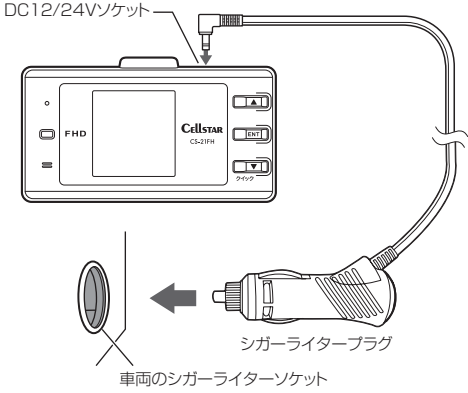
- ・配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。
- ・エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。
- ・コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。

付属のDCコードを本機のDC12V/24Vソケットに接続し、車両のシガーライターソケットに挿入します。

- ・コード類は市販のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。
- ・余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。

■ ヒューズが切れた場合
ヒューズ（1A）を交換します。



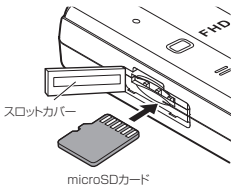


7-5 microSDカードの挿入および取り出し

- ・必ず本機からDCプラグを外し、電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。
- ・microSDカードを挿入／取り出したあと、衝撃でmicroSDカードが排出しないよう、必ずスロットカバーを閉じてください。
- ・microSDカードをご使用になる前に必ず、「📌 microSDカードの取り扱い注意事項」をお読みください。

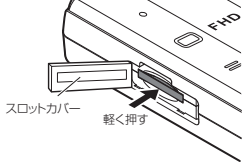
■ microSDカードを挿入する

スロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してカチッと音がするまでスロットに差し込みます。



■ microSDカードを取り出す

スロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込むと取り出せます。



8 起動する

＊ 本機を使用する前に必ず「❶ 安全に正しくご使用いただくために」「❷ 使用上の注意」を読み、正しくご使用ください。

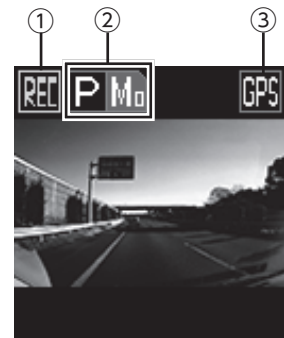
8-1 電源を入れる

本機には電源ボタンがありません。DCコードが車両に接続された状態で車のエンジンをかけると、電源が入ります。電源が入ると、動作LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、録画状態になります。

＊ 録画状態中の画面表示は、時計表示にしたり、表示をオフに変更できます。詳しくは「12-1 設定メニューの一覧」の「画面表示」をお読みください。

8-2 ディスプレイ表示を確認する

録画状態中、次の画面が表示されます。



① 録画モード

録画モードの状態を表示します。(参照⇒ ❶ 録画する)

- (緑)：常時録画
- (赤)：イベント録画
- (橙)：クイック録画

② パーキングモード

パーキングモードの録画状態を表示します。(参照⇒ 13-3 パーキングモード中の動作)

③ GPS

GPSを測位すると表示します。(参照⇒ ❶ GPS測位について)

＊ アイコン表示はオン／オフを設定できます。(参照⇒ 12-1 設定メニューの一覧の「アイコン表示」)

ディスプレイ表示は、設定メニューの「画面表示」で「時計」または「オフ」に設定できます。

(参照⇒ 12-1 設定メニューの一覧の「画面表示」)



8-3 エラーメッセージについて

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合に表示されます。

→ microSDカードを挿入し直したり、フォーマット (参照⇒ ❶ フォーマットする) をおこなってください。

■ microSDカードファイルシステムエラー

microSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違っていている場合に表示されます。

→ [ENT] ボタンを押してmicroSDカードのフォーマットをおこなってください。

■ microSDカード異常エラー

microSDカードの異常が見つかった場合に表示されます。

→ microSDカードの交換をおこなってください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合に表示されます。

→ システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

(参照⇒ ❶ システムリセットと強制初期化)

SDカード認証エラー
SDカード未挿入、
未フォーマット、
破損等の異常です。

SDカードのファイルシステム
又はアロケーションサイズが
違います。フォーマットしますか？
(フォーマットすると
データは全て消去されます。)

SDカードエラー
SDカードに
異常があります。
SDを交換して
ください。

カメラに異常が
あります。
カスタマーサービス
迄ご連絡ください。

9 録画する

本機の録画モードは3つあります。録画モードの状態はアイコンで確認できます (参照⇒ 8-2 ディスプレイ表示を確認する)

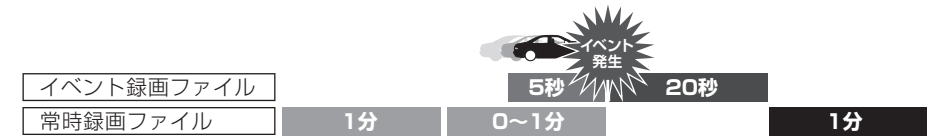
9-1 常時録画モード

走行中の映像を常に録画します。動作LEDが点滅し、1分単位で録画して「INFINITE」フォルダに保存し続けます。



9-2 イベント録画モード

走行中にイベント（事故などで衝撃を検知）が発生した場合、常時録画を中断してイベント録画を開始します。イベント録画モードでは、動作LEDが速い点滅になり、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）の映像を生成、「EVENT」フォルダに保存します。その後、常時録画モードに戻ります。



＊ 常時録画はイベント発生まで録画します。

- ＊ センサーの感度設定によって、検知する衝撃の強弱を設定できます。(参照⇒ 12-1 設定メニューの一覧の「3Gセンサー」)
- ＊ 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- ＊ 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- ＊ 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。

9-3 クイック録画モード

手動でイベント録画します。映像は「EVENT」フォルダに保存されます。
* イベント録画中は使用できません。

- 1 録画状態中、[▼] ボタンを短押し（約1秒）します。
→ 動作LEDが速い点滅になり、イベント録画が始まります。1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）の映像を生成、「EVENT」フォルダに保存します。その後、常時録画モードに戻ります。

9-4 録画データ保存先

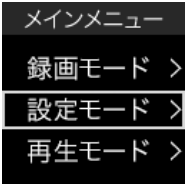
保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード： INFINITE	通常時：NNF_****.avi パーキングモード：PNF_****.avi パーキングモード（モーション）：PMF_****.avi	microSDカード総容量の73％ （最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます）
イベント録画モード： EVENT	通常時：NEF_****.avi パーキングモード：PEF_****.avi	microSDカード総容量の20％ （最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます）

* ファイル名の**** には、年月日－時分秒が入ります。 例：200231-101010は、2020年2月31日10時10分10秒です。

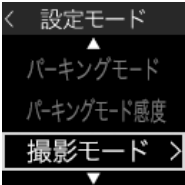
10 静止画を撮影する（撮影モード）

撮影モードは静止画を手動撮影するためのモードです。
画像（JPEGファイル）は「CAPTURE」フォルダに保存されます。
* microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
* 画像は本機で表示することはできません。パソコンなどを使用してください。

- 1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。
2 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。



- 3 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「撮影モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。



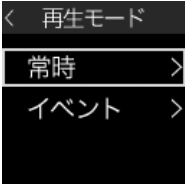
- 4 撮像モードになります。
[ENT] ボタンを短押し：撮影します。
* [ENT] ボタンを長押しすると、録画状態に戻ります。



11 再生する（再生モード）

録画した映像を再生します。
* 再生モード中は、録画できません。

- 1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。
* 録画状態中、[▲] を短押しすると「再生モード」画面が表示されショートカットできます。
2 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「再生モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
3 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「常時」または「イベント」を選択し、[ENT] ボタンを押します。



- 4 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して再生したいファイルを選択し、[ENT] ボタンを押します。ファイルは記録された時間の順に表示されます。
* 再生ファイル名は「9-4 録画データの保存先」のファイル名を参照してください。
* 再生ファイルは常時録画モードで1分です。



- 5 再生が開始されます。



[▲] ボタン	長押し：一つ上のメニューに戻ります。
[ENT] ボタン	短押し：再生を停止して、手順4に戻ります。 長押し：録画状態に戻ります。
[▼] ボタン	長押し：一つ上のメニューに戻ります。

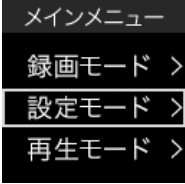
* 本体反転時、[▲] [▼] ボタンの動作も逆になります。

12 設定メニューについて

！ 画像モードを変更すると、microSDメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。（参照⇒⑩ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて）

設定メニューから本機の各種設定を変更できます。
* 設定中は、録画できません。
* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。

- 1 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。
2 [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。



- 3 設定メニューが表示されます。



[▲] ボタン	短押し：カーソルを上に移動します。 長押し：一つ上のメニューに戻ります。
[ENT] ボタン	短押し：メニューを決定します。 長押し：録画状態に戻ります。
[▼] ボタン	短押し：カーソルを下に移動します。 長押し：一つ上のメニューに戻ります。

* 本体反転時、[▲] [▼] ボタンの動作も逆になります。

12-1 設定メニューの一覧

メニュー名	設定項目（太文字：初期値）	説明
画像モード設定	高画質 ／標準／長時間／カスタム	録画画質を設定します。 [カスタム]では画質や明るさなどをお好みで設定できます。 (参照⇒ 12-2 画像モード設定の[カスタム]設定) * 画像モード設定を変更するとmicroSDメンテナンスフリー機能により、microSDカードのフォーマットが発生します。
カメラ設定	ノーマル／ HDR ／夜間補正／HDR 夜間補正	ノーマル :HDR、夜間補正をおこないません。 HDR :HDRによる画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。夜間補正はおこないません。 夜間補正 :夜間、トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDRによる画像補正はおこないません。 HDR 夜間 :HDRによる画像補正と夜間補正をおこないます。
録画モード	常時／ 常時+イベント	(参照⇒ ⑨ 録画する)
3Gセンサー感度	1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10／カスタム * 数値が大きくなると感度が上がります。	イベント録画で検知する衝撃の感度を10段階で設定します。 [カスタム]では感度をお好みで設定できます。 (参照⇒ 12-3 3Gセンサー感度の[カスタム]設定)
音声録音	オン ／オフ	音声を録音するかどうかを設定します。
インボース記録	オン ／オフ	録画映像とあわせて、日付、現在地の緯度経度、走行速度を記録するかどうかを設定します。
位置情報取得	オン ／オフ	GPSからの位置情報を取得するかどうかを設定します。
画面表示	オン ／オフ／オールオフ／時計	オン :カメラ映像を表示 オフ :画面表示をオフ、LED、ボイスをオン オールオフ :画面表示、LED、ボイスをオフ 時計 :時計を表示
画面明るさ	1／2／ 3 ／4 * 数値が大きくなると画面が明るくなります。	ディスプレイの輝度を4段階で設定します。
ディマー	オン ／オフ	オン :ディマー機能を使用します。 オフ :ディマー機能を使用しません。 * 4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。
ボイス	オン ／オフ	音声案内をおこなうかどうかを設定します。
カメラズーム	オフ ／2倍／4倍	オフ :等倍で録画 2倍 :2倍拡大で録画 4倍 :4倍拡大で録画
アイコン表示	オン ／オフ	画面にアイコンを表示するかどうかを設定します。 (参照⇒ 8-2 ディスプレイ表示を確認する)
パーキングモード	オン 常時 オン 常時+イベント オン モーション オン モーション+イベント オフ	(参照⇒ ⑩ パーキングモードについて) * オプションの常時電源コード接続時に設定可能です。
パーキングモード感度	1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10 * 数値が大きくなると感度が上がります。	パーキングモード中にイベント録画で検知する感度を10段階で設定します。*オプションの常時電源コード接続時に設定可能です。
撮影モード	－	(参照⇒ ⑩ 静止画を撮影する(撮影モード))
フォーマット	－	(参照⇒ ⑬ フォーマットする)

12-2 「画像モード設定」の「カスタム」設定

メニュー名	設定項目（太文字：初期値）	説明
画像	FHD／HD／ D1	解像度を設定します。
画質	高／標準／ 低	画質を設定します。
明るさ	明／ 中 ／暗	明るさを設定します。
コントラスト	高／ 中 ／低	コントラストを設定します。

12-3 「3Gセンサー感度」の「カスタム」設定

メニュー名	設定項目（太文字：初期値）	説明
前後	オフ／1／2／3／4／5／ 6 ／7／8／9／10 * 数値が大きくなると感度が上がります。	センサーの感度を前後、左右、上下、それぞれで10段階で設定します。
左右		
上下		

13 パーキングモードについて

パーキングモードに設定すると、オプションの常時電源コードのタイマー機能、電圧監視機能により最大12時間本機に電源を供給することで、駐車場に停車してエンジンがオフになっても、本機が録画をおこないます。エンジンが停止しACCがオフになってから約6秒後に作動します（動作LEDが遅く点滅します）。エンジンを始動しACCがONになると、約6秒後にパーキングモードが解除され、録画状態に戻ります。

警告

- ・パーキングモードは、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態ではパーキングモードを設定できません。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードを「オフ」にしても本機に電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、オプションの常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的に車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を「11.5V」に設定しないでください。(12V設定推奨)
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・パーキングモードは周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・車両がスリープモード時、電圧降下しない電源に配線してください。

録画方式は以下から選択できます。

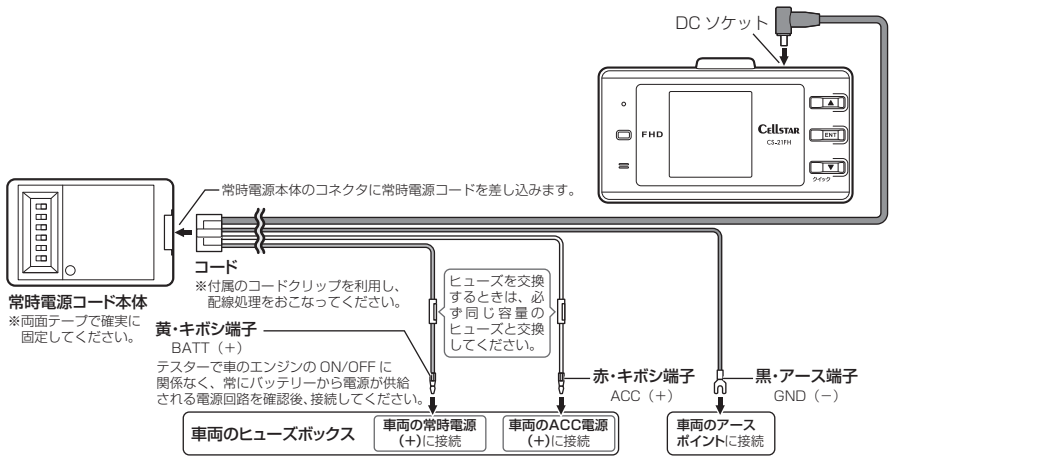
オン 常時	常時録画を記録しつつげます。(古いファイルは消去されます。)
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）のイベント録画を記録します。
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録します。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を1ファイル記録し、イベントが発生した場合、1ファイルに25秒（前5秒、後ろ20秒）のイベント録画を記録します。

- * パーキングモードの常時録画、モーション録画で1ファイルに記録される録画時間は「画像モード設定」により変動します。
- * イベント録画の感度は「パーキングモード感度」で調整してください。
- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、オプションの常時電源コードのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。

■ 録画仕様について

- 画像 :D1
- 画質 :低
- 明るさ :中
- コントラスト :中
- GPS :オフ

13-1 オプションの常時電源コードを取り付ける



* オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
* 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体の動作LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

13-2 パーキングモードの設定

- 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示します。
- [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「設定モード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- [▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「パーキングモード」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- 設定したい「録画方式」または「オフ」を選択し [ENT] ボタンを押します。(参照⇒ ⑩ パーキングモードについて)



13-3 パーキングモード中の動作

エンジンを停止し、ACCがオフになってから6秒後にパーキングモードが作動します。
画面が消え、動作LEDが遅く点滅します。
* パーキングモード中、[▼] ボタンを短く (約1秒) 押すと、動作LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。
* パーキングモード中にイベント録画やモーション録画をおこなった場合、エンジンをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。

イベント録画が発生した場合	PE_v	「EVENT」フォルダに保存されます。
モーション録画が発生した場合	PM_o	「INFINITE」フォルダに保存されます。
イベント録画とモーション録画が発生した場合	PM_oEV	イベント録画は「EVENT」フォルダ、モーション録画は「INFINITE」フォルダに保存されます。

14 GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するためにはGPSの測位確定が必要となります。
本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPSを測位すると測位アナウンスをおこない、GPSアイコンを表示します。(参照⇒ 8-2 ディスプレイ表示を確認する)

お買い求めいただきて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります (15分程度) これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。

- 超速GPSについて
- 自車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。
- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
 - 自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
 - 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源を切ってから直線距離で300km以上離れた地点で電源を入れた場合、最後に電源を切って次に電源を入れたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
 - 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
 - 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

- 業界最多の対応衛星
- GPS、グロナス衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき、SBAS (ひまわり、GAGAN) 6種類83基の衛星を受信可能。
* 同時受信可能な衛星は最大32基に加え、SBASの最大2基を補足利用します。
* 2019年2月現在稼働数より(一時使用禁止衛星を除く)

15 フォーマットする

microSDカードを初期化し、設定した録画画質にあわせたセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

- microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。(参照⇒ ⑩ ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて)

- 録画状態中、[ENT] ボタンを押してメインメニューを表示し、「設定モード」にします。(参照⇒ ⑩ 設定メニューについて)
- 設定モードの画面で[▲] ボタンまたは[▼] ボタンを押して「フォーマット」を選択し、[ENT] ボタンを押します。
- 「フォーマット」画面のメッセージを確認し [ENT] ボタンを押します。
* [ENT] ボタンを長押しすると、フォーマットがキャンセルされ、録画状態に戻ります。
- フォーマット再確認のメッセージを確認し、[ENT] ボタンを押します。
- フォーマットが完了すると、本機は自動的に再起動します。

SDカードをフォーマットします。録画データは全て消去されます。

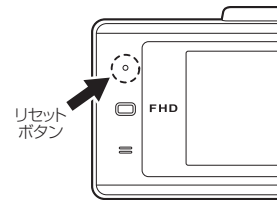
本当によろしいですか？

16 システムリセットと強制初期化

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

16-1 システムリセット

ピンなどを使ってリセットボタンを押すと、システムリセットできます。

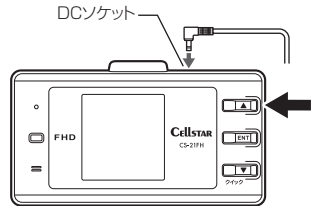


16-2 強制初期化

強制初期化をおこなうと、設定内容が工場出荷時（初期値）に戻ります。

・microSDカード内の記録ファイルや専用ビューアソフトがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。(参照⇒ ⑩ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて)

- 1 DCコードのプラグを抜き、電源を切ります。
- 2 [▲] ボタンを押しながらDCコードを接続し電源を入れます。
- 3 強制初期化が実行されます。



17 ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。
専用ビューアソフトと専用ビューアソフトの説明書は、付属のmicroSDカードの以下の場所に格納されています。

- ・専用ビューアソフト：%viewer%setup.exe
- ・説明書：%viewer%専用ビューア説明書.pdf

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。
「setup.exe」を起動すると専用ビューアソフトのインストーラーが起動します。

■ 専用ビューアソフトの動作環境

- CPU : Pentium 4 以上
- OS : Windows / 7 / 8 / 10 以上
- メモリ : 1GB 以上
- HDD : 4GB 以上
- GPU : Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからもダウンロードできます。
<https://www.cellstar.co.jp/products/recorder/>

18 故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照ください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因
電源が入らない	・DCコードは、車両のシガーライターソケットに接続されていますか。 ・本機のDCソケットにDCコードは接続されていますか。 ・DCコードのヒューズが切れていませんか。 ・本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。 ・車両のシガーライターソケットにタバコくずが付着していませんか。付着している場合は、タバコくずなどをきれいに拭きとってください。 ・microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
起動時間が長い	・microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。
録画が開始されない	・microSDカードは正しく挿入されていますか。 * microSDカードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSDカードを取り換えてご使用ください。その際は指定のmicroSDカードをご使用ください。 ・microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 * microSDカードをフォーマットしてください。
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	・「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。
ひんばんにイベント録画される、または録画されない	・「3Gセンサー感度」を調整してください。 * 使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。
画面が表示されない	・「画面表示」がオフになっていませんか。
再起動する	・本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません
録画したデータと実際の走行状況が違う	・日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります
パーキングモードを設定できない	・本機がオプションの常時電源コードを認識していません。エンジンをかけなおしてください
設定中にフォーマット動作になった	・画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルや専用ビューアソフトが消去されます。バックアップされていない場合、DCプラグを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。

19仕様

車外撮影用カメラ	撮像素子	200万画素 CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平116.3°、垂直59.6°、対角145.1°
	F値	2
	最低被写体照度	3LUX
録画画素数		200万画素(FullHD) / 100万画素(HD) / 35万画素(D1)
録画画質	FullHD	高画質(12Mbps) / 標準(10Mbps) / 低画質(8Mbps)
	HD	高画質(7Mbps) / 標準(5Mbps) / 低画質(3Mbps)
	D1	高画質(2Mbps) / 標準(1.5Mbps) / 低画質(1Mbps)
録画画角	FullHD	水平107°、垂直56°、対角130°
	HD	水平107°、垂直56°、対角130°
	D1	水平 90°、垂直56°、対角115°
録画圧縮		録画AVI(H.264)、静止画JPEG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画/ 常時録画+イベント録画/ モーション録画+イベント録画 ※パーキングモード時)
GPS		有り
HDR		有り
3Gセンサー		有り(衝撃感度10段階)
対応外部記憶媒体		microSDカード 8GB ～ 32GB (クラス10/SDHC規格準拠、 NANDタイプは「MLC」を推奨)、64GB(クラス10/SDXC規格準拠、 UHSスピードクラス :UHS-1以上、NANDタイプは「MLC」を推奨) * 弊社オプションmicroSDカード推奨
記録データ		日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル
音声録音		有り(オン、オフ設定可)
外部映像出力		無し
インターネット地図連動		有り
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃～+60℃
サイズ (*突起部含まず)		82(W)×24.5(D)×43.5(H)mm * マウントベース取り付け時 72(H)mm
本体重量		75g
保証期間		3年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。
* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■ 撮影可能時間の目安

microSD カードの容量		録画品質		
		高画質 常時録画／イベント録画	標準 常時録画／イベント録画	低画質 常時録画／イベント録画
8GB	FullHD	約50分／約13分	約62分／約17分	約74分／約20分
	HD	約86分／約23分	約123分／約33分	約187分／約49分
	D1	約234分／約63分	約311分／約80分	約467分／約91分
16GB	FullHD	約101分／約27分	約124分／約33分	約148分／約40分
	HD	約171分／約45分	約247分／約67分	約371分／約98分
	D1	約464分／約127分	約618分／約159分	約928分／約181分
32GB	FullHD	約202分／約54分	約249分／約67分	約297分／約79分
	HD	約342分／約91分	約495分／約134分	約742分／約192分
	D1	約928分／約254分	約1238分／約318分	約1857分／約363分
64GB	FullHD	約400分／約107分	約489分／約132分	約587分／約157分
	HD	約677分／約179分	約978分／約264分	約1467分／約387分
	D1	約1834分／約503分	約2446分／約628分	約3669分／約718分

microSD カードの容量	最大録画時間 (パーキングモード)
8GB	約451 ～ 468分
16GB	約905 ～ 930分
32GB	約1815 ～ 1867分
64GB	約3586 ～ 3669分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。
* パーキングモードは、エンジンOFF (ACC) で最大12時間録画します。

修理に関して

■修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。
保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。
保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎているとき

修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

(修理受付票PDF ダウンロード：48KB)
https://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■修理をご依頼される前に

1 「❶ 故障かな？と思ったら」を参考に故障かどうかをご確認ください。

2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。

3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。
https://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票に必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■修理の流れ

1 ご不明な点は、弊社カスタマーサービスにご連絡ください。

0570-006867（ナビダイヤル）
0120-75-6867（フリーダイヤル）
受付時間：9:00～18:00
(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス
〒518-1145
三重県伊賀市安場 1608-5
TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。(処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます)

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 当社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

製品名：CS-21FH

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中で連絡可能な電話番号：	☐ 携帯電話 ☐ ご勤務先 ☐ その他（ ）

ご購入日：	microSDカードのデータの消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項の署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。 ご署名
①	お見積り連絡： ☐ 不要 / ☐ 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡
②	※不要を選択の場合、お見積り金額に関わらず、修理させていただきます。
③	具体的な症状： ☐ 常に発生する ☐ 時々発生する ☐ 特定の条件で発生する
④	できるだけ詳しくご記入ください。
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

修理品返却先 ※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。

お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	